



学校と地域で子どもを守る連絡会 地域で子どもたちを守るう!

5月25日(火)古牧公民館において『学校と地域で子どもを守る連絡会』が開かれました。これは古牧地区の小・中学校6校と和田交番、古牧12地区が連携して子どもを守る取り組みの連絡会です。

昨年はコロナウイルス感染拡大のため中止となり、2年ぶりの開催となりました。ソーシャルディスタンスを考慮し、今回は2回に分けての開催で実施。小・中学校・警察関係・12区の区長等総勢65名が参加されました。2回開催ということで、関係者の皆様にはご苦勞を頂きました。

長野中央警察署和田交番田口泰秀所長から諸情勢についての講話を頂き、各小中学校よりお話を頂き、子ども達を守る取り組みにつ



いて情報を共有しました。

地域による子どもの安全確保については、今後とても大事になってくることと感じています。古牧地区皆で一緒に協力して、取り組んでいきたいと思ひます。(防犯部)

地域の情報をお寄せください

こんにちは。大変遅くなりましたが、今年度「ぷらネットこまぎ」などでお世話になる広報部のメンバーをご紹介します。地域の情報などをお寄せいただければ幸いです。

広報部ではみなさんに住民自治協議会などの取り組みをわかりやすく紹介しようと、原稿の書き方や写真の撮り方などの研修会も開いています。

また、住民自治協議会のホームページも開設しています。ぜひご覧ください。スマートフォン用のQRコードを「ぷらネットこまぎ」の最終面に掲載しています。(広報部)

部員氏名	選出部	区
原 広美	有識者	東和田
中澤 実	総務部	上高田
滝澤 亨	環境美化部	南高田
中澤 誠	福祉健康部	西和田
増尾 美芳	子育て支援部	南長池
大日方広一	防犯部	五分一
田尻 茂	交通安全部	西和田
加藤 博	公民館部	北条
山田 啓子	青少年育成部	西尾張部
近藤 葉子	人権・男女参画部	中村

通信員氏名	選出区
川崎 彰	北条
篠根 義文	中村
成田 智	川端
原 保則	五分一
小宮山久良	上高田
神谷 清人	南高田
北村美智子	南長池
木下 陽介	西尾張部
宮下 正幸	東和田
仁科 光雄	西和田
宇佐美常雄	平林
西澤 征防	荒屋

「おはようございます」 古牧地区あいさつ運動

土日を除く5月10日(月)から21日(金)まで古牧地区のあいさつ運動が行われました。今年はコロナ渦でのあいさつ運動となり、距離を取り、マスク越しでの活動となりました。

大きな声は出せませんが、ひとりひとりが気持ちを込めた挨拶をすることができました。(青少年育成部)



(写真は上高田地区)

キリリと白線 地区内各地で白線引き

見えにくくなった白線を引き直し、交通安全に寄与しようと古牧地区内の各区で白線引きが行われました。

このうち東和田区では車通りの少ない5月23日(日)の早朝に実施。35人が7班に分かれて192カ所の白線を引きました。(東和田区)



地区内10カ所で一斉清掃

南高田地区

古牧地区内でごみゼロ運動が行われました。このうち南高田区では6月6日(日)全区民に呼び掛けて春の一斉清掃が実施されました。

区内の10か所に分かれて、道路の掃除、側溝の泥上げ、植樹帯の草取りなどに汗を流し作業は1時間程で終了しました。(環境美化部)



令和3年度 公民館部役員研修会 古代の古牧を学び各公民館の実践発表

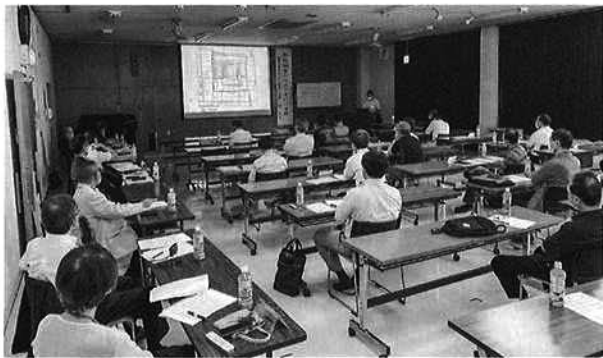
6月5日(土)古牧公民館において公民館役員研修会が参加者30名で行われました。

講師には長野市埋蔵文化財センター研究員の千野浩さんを迎え『発掘調査から見た古代の古牧』を演題に講演を頂きました。

現在、平林(ファミリーマート)の工事の際発掘調査を行い、出土された実物の土器を見ながら楽しく古牧の古代を知る事が出来ました。

休憩後、地域公民館実践発表が行われました。

南高田公民館西脇広明館長は、近年公民館役員の成り手がなく活動の見直し等を検討している。また、公民館建設委員会を立ち上げ令



和4年度に完成の予定で公民館の建設を進めている。

南長池公民館宮澤泰彦館長は長池音頭をデジタルアーカイブ化CD/DVDの作成、貴重な南長池の文化的財産の永続性確保について。

平林公民館江守好夫館長は、近年公民館役員の成り手がなく活動の見直し等を検討している。

3地区の館長さんが口にすることは公民館役員の成り手が無い事に苦慮していることでした。(公民館部)

工夫をして福祉推進員研修会を開催

6月11日(金)古牧公民館集会室で福祉活動を行っている福祉推進員などの研修会が開かれ区の代表ら17人が参加しました。

この研修会は、4月に予定していた福祉推進員・保健補導員研修会が新型コロナウイルス感染防止のため中止になったことから、福祉推進員の活動の一助となればと参加者を限定して開かれたもの。研修会の様子をDVDに収録し各区に配布して参加できなかった福祉推進員に視聴してもらう工夫をしました。

長野市社会福祉協議会の松岡伸樹氏が「福祉推進員の役割について」と題して講演。

近年の私たちを取り巻く社会環境の変化に伴う地域福祉の必要性、福祉推進員の活動に



おける大切な視点を解説していただきました。サロンや訪問などで出てきた悩みなど「困りごとに気づく目」、相手の思いを「受け止める心」、民生委員さんや区の役員、福祉事業者や行政につなぐ「つなぎ、共有する手」の3つのポイントが示されました。(福祉健康部)

きれいになりました

南長池区

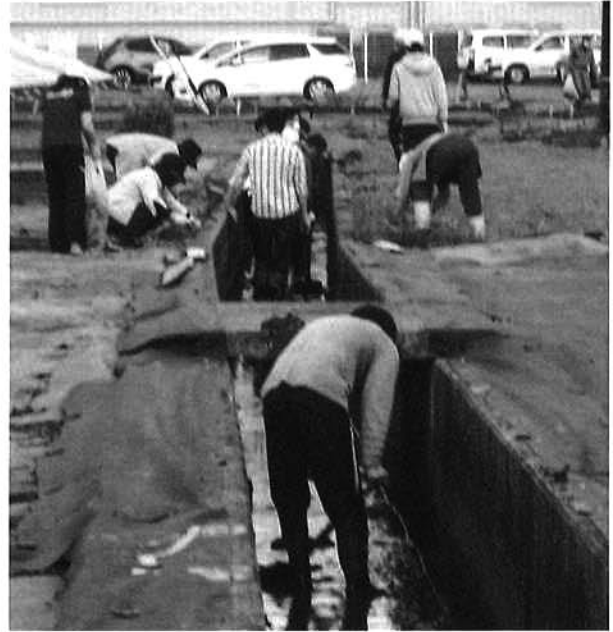
5月9日(日)南長池区内の河川一斉清掃がありました。区内の河川用水路は幅が広く清掃は大変ですが、1年に一度ということもあり全戸が参加しました。

昨年(令和2年度)は全国的な緊急事態宣言中のため実施できず2年分の草と泥に苦戦しました。参加者は「2年分は大変だから毎年実施したほうがよい」と多数寄せられました。

《塚田敏明部長のお話》

皆様の手際が良く、短時間で河川一斉清掃を終えることができました。南長池区民が使用する河川なので、できるだけきれいな河川を保つため皆様のご協力をお願いします。

皆様お疲れ様でした。(南長池区通信員)



子育て支援「にこにこ広場」にお出かけください

古牧地区民生児童委員協議会では古牧児童センターをお借りして子育て支援「にこにこ広場」を開催しております。

昨年は、23回の開催予定がコロナウイルス感染症の拡大により13回の開催となりまして、とても残念でした。

今年は、感染予防を徹底して極力開催して

まいりますので、子育て中の皆さまのお越しをお待ちしております。

また、子育てに関することやそのほか日常の心配事、悩みなどをお聞きしますので、気軽に開催日の時間内に電話かお越しの上でご相談ください。秘密は固く守ります。

☆にこにこ広場・相談 開催日程表

8月	25日	11月	10日・17日	2月	9日・16日
9月	8日・15日・22日	12月	8日・22日	3月	2日・9日
10月	6日・20日	1月	12日・26日		

にこにこ広場

施設名：古牧児童センター
場所：長野市高田(五分一)603-1
(市営社会体育館隣接)
受付：2階和室
時間：10時から12時まで

子育て相談

場所：古牧児童センター
相談員：主任児童委員
相談電話：026-258-5123
相談時間：にこにこ広場開催時間内

☆中止の場合

留守番電話でお知らせしますので、ご利用ください。(☎026-259-5123)

(古牧地区住民自治協議会・古牧地区民生児童委員協議会)

わかりやすくお伝えしたい 広報部 原稿の書き方・写真の撮り方学ぶ

広報部会は部員と通信員が参加して今年度の研修会を5月14日(金)に開きました。どのように原稿を書いたらわかりやすいか、写真はどのように撮るかを過去の「ぶらネットこまき」や新聞にならって学びました。

報道の経験がある原広美広報部長が新聞記事の書き方基本を紹介。「自分が地区の皆さんに伝えたいことを書くことが大切です。ポイントは何かを整理しましょう」と語りました。写真はパワーポイントを使い、様々な行事のシーンごとに例をあげて学びました。



地区の皆さんに読んでいただける「ぶらネットこまき」にするために、これからも努力してまいります。
(広報部)

歴史探索

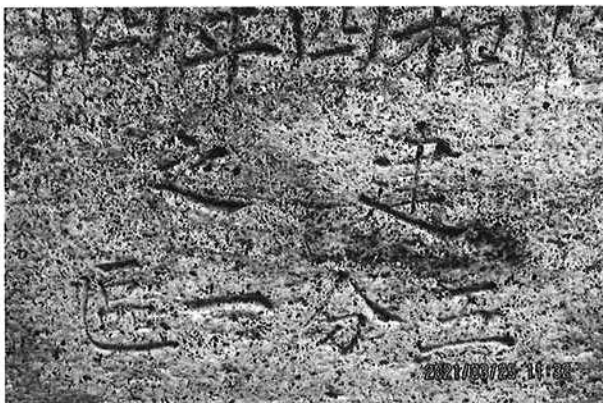
ぐるりわがまち

五分一区

珍しい名前…五分一 地籍は「高田の五分の一」 古牧郷土史研究会 五分一区 塚田 久直

五分一区は今は約1,000戸と大きな地区に成長していますが、私が生まれた昭和10年代の戸数は60戸前後の純農村でした。

古牧誌によると「五分一」という地名は、越前(福井県)にもあり、五分一城址です(武生市から現在は越前市になっています)。ここは、安土桃山時代の武将佐々成政の城跡で別名



五分一天満宮の石積み基礎に「五分一区」の表示
(昭和4年4月建立)

「小丸城」とも呼ばれ重要な城だったようです。「大日本地名辞書」には「中世庄田下司職の二分一、三分一など分割をなせる名目の遺れる也」と説明し、また「高田の五分一の地籍である。(中略)五分一とは、鎌倉時代に廃嫡(相続権の喪失)の場合、長子(長男)に与えた最小限の土地である」と記されています。

さらに「五分市と書くこともあり、荘園時代(平安～室町)には私的領有地の五分の一を誰かが受け継いだことによって生じた名称だろう」とも言われています。

五分一の地名は、「五分市」「五部市」「五分一」と古文書には三様に書かれてはいますが、いずれも時代による違いはなさそうです。

なお、私が確認した「五分一」は、新潟県に2つ、福島県に1つあります。

地域たすけあい事業の協力員さん募集!

古牧地区にお住いの高齢者や障がい者のみなさんが日常生活で困った時に地域のみなさんが家事援助や外出のお手伝いなどを中心に行う事業です

多くの方にご利用いただいておりますが、この事業を支えていただく協力員さんが不足しております。

ボランティア活動になりますが興味のある方はご連絡ください。

★活動内容は?

- ・福祉移送(古牧福祉自動車「あいりーん号」の自動車の運転)
- ・家事援助(ゴミ出し、草取りほか)

★活動時間は?

あなたの可能な日・時間帯で調整します。(月数回程度です。)

★資格は必要?

年齢や経験は問いません。ただし、福祉移送については一定の条件があります。

★問い合わせ

古牧ボランティアセンター(☎244-5522)です。

あなたの
ご参加を
お待ちしております!

娑婆鉛筆

コロナと共生

私は、高田在住の60代男性です。
6月17日にコロナワクチン2回目の接種を受けました。これで少しは安心できるかな?

16歳以上の人口の8割以上でワクチン接種を終えたイスラエルでは、1日の新規の感染者が平均12人まで減少し、6月からは集会の際の人数制限や接種証明書の提示義務がなくなり、エルサレムのショッピングセンターモールでは、ほとんどの人がマスクをせず買い物や食事を楽しんでいるそうです。

日本でこのような状況になるのは11月以降になると予想されます。



なぜこのような状況で東京オリンピックを開催するのでしょうか?

世論は開催を心配しているのに菅総理は「国民の安全安心を守る」と言うだけです。こんなことで国民は納得するのでしょうか? オリンピック開催中にコロナの第5波が来たらどうするのでしょうか?

昨今の頃は不織布マスクが不足していたので、妻が制作した布マスクを着用していましたが、今年に変異ウイルスが流行しているので不織布マスクを着用したほうが良さそうです。

これからコロナと共生して生活をしましょう。

(中澤 実)

7月から8月までの主な行事実施日のお知らせ → 回覧等でお知らせします。



古牧地区の世帯数と人口

令和3年6月1日現在

11,719世帯

(男 13,154人)

26,667人

女 13,513人)

■発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話 259-8359・FAX219-1057)
(E-mail: komaki@vivid.ocn.ne.jp)

■発行者 児嶋 孝
■編集 ぷらネットこまき編集委員会
■印刷 SR



HP
ご覧ください